

Q&A

腹部CT検査で偶然指摘された 腹部腫瘍性病変の診断は？

【問 題】

症例：61歳 女性。

主訴：なし。

既往歴：特記すべきことなし。

現病歴：2018年3月に交通外傷（後方による追突事故）のため、当院救急外来受診。消化器症状は特に認めない。特記すべき腹部理学所見なし。

入院時検査所見：

血液生化学検査：WBC 6690/ μ l, RBC 474×10^4 / μ l, Hb 14.6g/dl, Ht 33.1%, Plt 26.5×10^4 / μ l, GOT 43IU/l, GPT 80IU/l, γ -GTP 59IU/l, AMY 78IU/l, lipase 41U/l, trypsin 487ng/ml, elastase-1 109ng/dl, PLA2 267ng/dl, TP 7.2g/dl, Alb 4.2g/dl,

UA 6.2mg/dl, T-Bil 0.28mg/dl, T-CHO 299mg/dl, TG 215mg/dl, CRP 0.13mg/dl, CEA 2.52ng/ml, CA19-9 3049U/ml.

胸部・腹部X線写真では異常なし。

腹部CT検査 (Figure 1A, B), 腹部MRI検査 (Figure 1C, D) を示す。

超音波内視鏡による観察では病変部位は、低エコー像を呈していた。

以上より、次のどの疾患を考えるか？

1. 胃 GIST
2. IPMN
3. 重複嚢胞
4. 副腎腫瘍

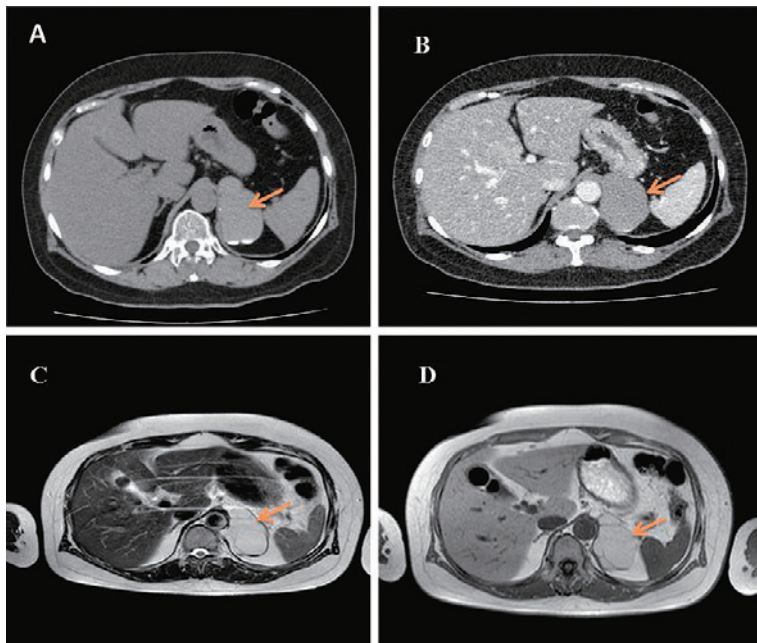


Figure 1. A. 腹部単純CT, B. 腹部造影CT, C. 腹部MRI T2強調像, D. 腹部MRI T1強調像.